

2026年6月18日

苧原 誠 ステートメント

このたび、弊社取締役会におきまして、代表取締役を拝命しました。自分自身、青天の霹靂でもあり、この先重責を担うにあたり大きな責任を感じております。また、これも何か大きな運と縁の巡り合わせだと感じています。

私事を申し上げますと、1987年に大学卒業後に全日空エンタプライズ株式会社に入社し、一貫してホテルの開業、運営の中で管理部門を中心とした経験を積んで来ました。その後、六本木ヒルズ開業の年の2003年の初頭に森ビル株式会社に入社しました。入社後は、六本木ヒルズの不動産証券化、プロパティマネジメントを歴任し、上海環球金融中心プロジェクトにおいてパークハイアット上海の開業、運営に財務総監という立場で携わり、当時北京オリンピック、上海万博という大型イベントを通じて中国の加速度的な発展を目の前にして大きな刺激を受けたことを今でも鮮明に記憶しています。社会人生活の中で海外事業に関わる経験がそれまでになかったこともあり、言葉の壁を越えた現地中国人や外国人スタッフとの交流、ハイアットとのネットワークの構築など、今では自分の中で大きな財産となっています。貴重な経験の場をいただけたことに大いに感謝しています。

2013年に帰国し、しばらく森ビルの経営企画部において主に関連会社のマネジメントなどに関わり、同時に(株)森ビルホスピタリティコーポレーションの取締役としてもヒルズクラブ、ヒルズスパの事業運営などを担当して来ましたが、その後再びホテル事業運営を中心とした役回りにシフトして来ました。

森 前社長には、2013年の(株)森ビルホスピタリティコーポレーションと(株)ヒルズクラブの合併のタイミングより現在に至るまで13年間という長きに渡って社長職を担っていただき、コロナ禍も挟み、多くのプロジェクトを推進し、弊社も大きく成長しました。ここまで会社の成長をけん引していただいたことに深く感謝いたします。

また、周知の通りコロナ禍においては観光・ホスピタリティ業界は大きな打撃を受けました。その未曾有の危機の中、日本ホテル協会の会長職を担われ、瀕死の状態の業界全体のリーダーとして対応にあたられました。不断の努力に敬意を払いたと思います。

くしくも、今年2026年は当社が設立されて25周年の節目にあたります。従来から弊社において標榜している唯一無二の「世界で一番のホスピタリティ企業になる」という精神を踏襲し、これからの新たな10年、20年持続的な成長を図って行かないといけません。

この数年、コロナ禍以降は超円安を背景に観光・ホスピタリティ産業は大きな躍進を遂げました。昨年では日本全体で4,268万人のインバウンドの外国人を迎え入れ、我々の施設においても多くの方にご利用いただいています。特に各ホテルの宿泊のお客様は恒常的に80~90%が外国人の方という状況で国際色の豊かな事業環境でもあります。そのような中で、より多くのファン層を獲得するためにも、一期一会の精神に基づいたおもてなし、ホスピタリティを通じて、従業員の成長、ひいては会社として更なる飛躍を目指していきたいと思います。

我々の事業には、ホスピタリティを通じて与えられる感動や喜びという魅力や強みがあると考えています。また、外貨獲得産業として日本経済をけん引する力もある社会的な貢献度の高い業界でもあります。一方で、昨今の日中関係の悪化、中東情勢の不透明な状況に伴う事業環境への悪影響。エネルギーコストを始めとした物価高への対応。そして、何よりも日本の構造的な課題である人手不足が産業の中でとりわけ大きなインパクトがあり、労働集約型産業であるホスピタリティ事業において継続的な課題となっています。自助努力により生産性を上げていくことは元より、ここ数年取り組んで来た健康経営優良法人への取り組み、人的投資の強化、経営の礎は人にありということを強く意識しています。

従業員の満足があって、お客様の満足のさらなる向上に繋げていく、そんな取り組みを大切にしていきたいと思います。来る時代に備え、試行錯誤を重ねて、悩み抜くことが求められます。大きな環境の変化の中で、これまでの10年と違う10年になることを念頭に執務にあたりたいと考えます。

既に森ビルよりプレスリリースされている六本木五丁目プロジェクトの「ローズウッド」をはじめとした今後の複数の新規事業への関わりなど、森ビルグループの街づくりの中で求められる役割も決して小さくないものと考えています。

「点滴穿石（てんてきせんせき）」小さな努力でも積み重なれば大きなことを成し遂げる力となる。そのような心持で、誠心誠意努めて参ります。(株)森ビルホスピタリティコーポレーション一丸となって更なる飛躍を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願ひいたします。